

学校自己点検・評価

令和2年度

本校では、学校自己点検・評価を行い、学生に質の高い教育が提供できるよう努めています。

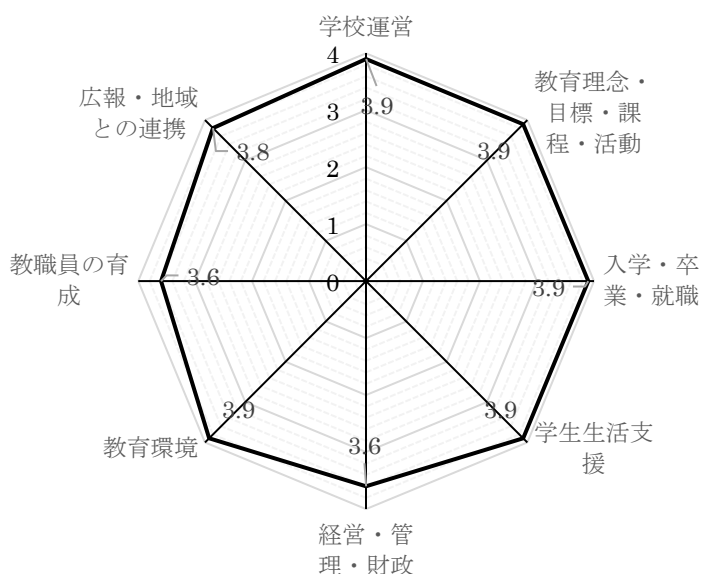
評価方法

評価内容は8領域35項目からなる内容です。(済生会看護学校代表者会で作成した評価を基にしています。)

評価は4段階「4：その通り」「3：ほぼその通り」「2：やや不十分」「1：不十分」で行います。

<評価項目と評価点>

評価領域	評価点
I. 学校運営	3.9
II. 教育理念・目標・課程・活動	3.9
III. 入学・卒業・就職	3.9
IV. 学生生活支援	3.9
V. 経営・管理・財政	3.6
VI. 教育環境	3.9
VII. 教職員の育成	3.6
VIII. 広報・地域との連携	3.8



<評価結果の概要>

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学校生活、授業形態は大きく変化した。コロナ禍で、特に力を入れ取り組んだことを中心に評価結果を述べたい。

「IV.学生生活支援」においては、感染防止のため、休校や分散登校、3密回避等により人間関係を築くことが難しい中、カウンセラーと協力し、学生の精神的サポートを強化した。

「VII.教職員の育成」では、学生への教育力が低下しないようオンライン授業をはじめ、授業内容(学内実習も含め)・評価における検討会議、学習会(オンライン研修)等に取り組んだ。

「VIII.広報・地域との連携」では、コロナ禍、学校説明会や学校訪問も中止せざるを得ない状況であり、ホームページの活用を強化した。タイムリーに学校の状況を配信したり、学校生活が具体的にイメージできるよう学生と協力し動画の配信も行った。

以上の取り組みにより、「VII.教職員の育成」「VIII.広報・地域との連携」の評価点を上げることができた。

今後も、感染対策を継続し、学生の教育に教職員一同取り組んでいきます。